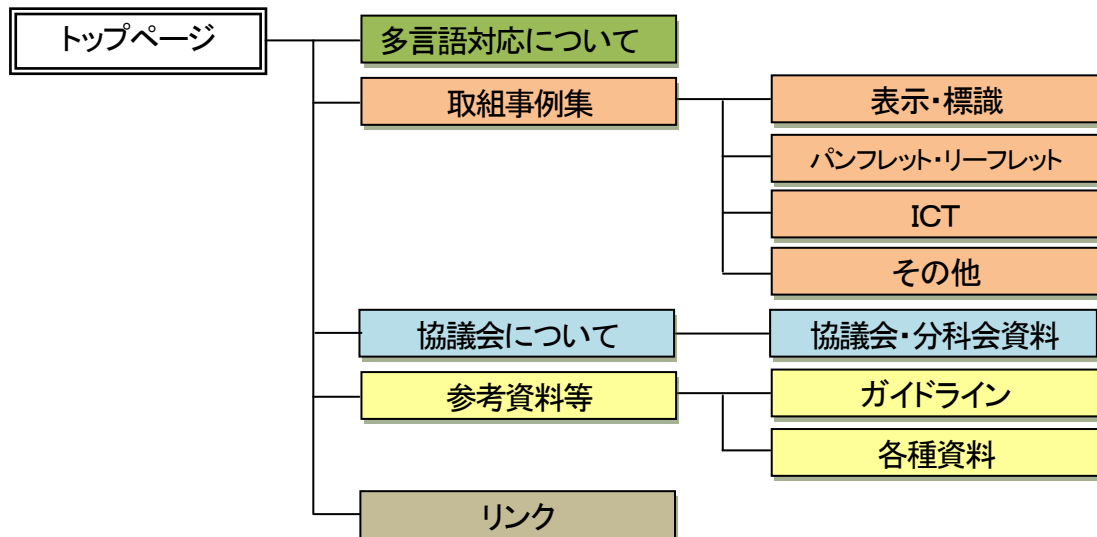


多言語対応協議会ポータルサイトの概要 及び掲載事例の紹介

○ 目的（平成26年 7月31日開設）

「多言語対応協議会」の構成機関・団体のみならず、一般の企業・団体において、多言語対応に取り組む際の参考となるよう、自治体や民間団体等による取組事例を多数掲載することで、多言語対応の取組のさらなる促進を図る。

○ ポータルサイトの構成



○ トップページ

東京都オリンピック・パラリンピック準備局
Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Organizing Committee

2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた
多言語対応協議会ポータルサイト

文字サイズ 小 中 大

▶ メインメニューをスキップして本文へ移動

多言語対応について 取組事例集 協議会について 参考資料等 リンク

外国人旅行者の円滑な移動、快適な滞在を目指して

お知らせ

2014年11月17日
<NEW> 取組事例（表示標識7件、パンフレット7件、ICTの活用など6件、音声ガイド1件、HPなど4件、その他5件）を追加しました。

2014年10月23日
取組事例（表示標識5件、パンフレット9件、ICTの活用など1件、音声ガイド1件、HPなど2件、その他2件）を追加しました。

2014年9月30日
取組事例（埼玉県、相模原市、東京都港南局、東京都交通局、埼玉県都心まちづくり協議会）及び紹介記事（北海道釧路市、新潟県糸魚川市、東急バス・都営バス）を追加しました。

多言語対応取組事例集

表示・標識など

パンフレットなど

ICTの活用など

その他

○ 掲載内容（取組事例）

団体名	
北海道	
取組み事例	
タイトル	北海道博物館（仮称）【2015年春リニューアルオープン予定】の多言語対応
概要	<p>1971年からみなさまに親しまれてきました北海道開拓記念館は北海道立アイヌ民族文化研究センターと統合して、2015年の春に新しい「北海道博物館（仮称）」としてリニューアルオープンする予定です。</p> <p>これまでの北海道開拓記念館においても、来館者にお配りするリーフレット、館外に配布するPR用パンフレット、常設展示の音声解説などで、多言語対応（英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語、ロシア語）を実施してきましたが、リニューアルオープンに向け、更に解りやすい多言語対応に向けて、その充実化に取り組めます。</p>
	
	<p>これまでのPR用パンフレット（表）</p> <p>これまでのPR用パンフレット（裏）</p>
背景・課題	<p>北海道では、中国、台湾、韓国などアジアを中心とする外国人旅行者が大幅に増加しており、当館にも大勢のツアー客が訪れることが見込まれることから、外国人旅行者に北海道の自然・歴史・文化の理解をより深めていただくこと、また施設利用の利便性を向上させることを目的として、北海道博物館のオープンとともに多言語対応の充実化を図ることとしました。</p>
工夫したポイント	<p>①リーフレット、パンフレット、英語版ホームページの多言語対応については、日本語原稿をただ外国語に翻訳するだけではなく、北海道在住の外国人（北米、ヨーロッパ、韓国、台湾、中国、ロシア、ASEAN諸国など）と共働してその翻訳原稿を検討し、外国人利用者の視点からより理解可能な翻訳へと導く予定です。</p> <p>②ネイティブ・スピーカーを講師に招き、相手国の接遇マナーを習得するとともに、北海道らしいあたたかな接遇と案内のあり方を構築し実践することを目指します。</p> <p>③北海道民の感性を結集し、魅力ある北海道博物館像を外国人に音感的、可視的に感じていただける愛称・ロゴマークを作成し、外国人の利用促進へとつなげる予定です。</p>
得られた成果	<p>今後、概ね11月から2月にかけて、諸々の整備を実施していくため、成果の検証は2015年3月以降、本格的には2015年春のリニューアルオープン以降となります。</p>
その他（利用者の声等）	<p>上記のとおり、2015年春のリニューアルオープン以降、オーディエンスリサーチを本格化させる予定です。</p>
連絡先	
<p>部署名： 北海道開拓記念館 総務部 企画調整課 TEL： 011-898-0456 E-mail： kaitaku.somu1@pref.hokkaido.lg.jp</p>	

団体名

東北歴史博物館（宮城県教育委員会）

旧石器時代から近現代までの東北地方の歴史を時代別に紹介する「総合展示」と、歴史や文化をテーマ別に紹介する「テーマ展示」を常設しています。また、期間限定で企画・展示する「特別展」も年数回開催されます。

その他、楽しみながら歴史に親しめる「こども歴史館」や、江戸時代の民家を移築・復元した「今野家住宅」等もあり、存分に歴史を感じていただくことのできる施設です。



取組み事例

概要

- 総合展示「音声ガイド」の多言語対応
総合展示室（常設展）の展示資料解説の音声ガイドを希望者に無料で貸し出ししています。音声ガイドは「日本語」、「英語」、「中国語」、「韓国語」に対応しています。
- 英語版案内パンフレット
当館の総合案内パンフレットの英語版を作成し、来館者への配布と合わせて、ホームページへも掲載（PDFファイル）しています。
- 館内案内表示等の英語表記
館内案内表示や展示資料のキャプションに、日本語と合わせて英語の表記を行っています。



背景・課題

上記取組は、開館時（平成11年度）から行っています。音声ガイドについては四カ国語に対応していますが、パンフレットや館内案内表示は日本語と英語のみのため、今後、その他の言語への早急な対応が必要と考えています。

得られた成果

音声ガイドによる展示解説は、展示資料毎に任意の選択が可能となっており、国外からのお客様にも好評をいただいております。

連絡先

部署名： 宮城県教育委員会 東北歴史博物館 管理部 情報サービス班
TEL： 022-368-0106
E-mail： thm-service★pref.miyagi.jp（★は@）

情報通信研究機構/ユニバーサルコミュニケーション研究所

情報通信研究機構（NICT）は、情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関として、豊かで安心・安全な社会の実現や我が国の経済成長の原動力である情報通信技術（ICT）の研究開発を推進するとともに、情報通信事業の振興業務を実施しております。
ユニバーサルコミュニケーション研究所では、音声・言語・知識・映像・音響に係る研究を集結し、それらを融合的にとらえたユニバーサルコミュニケーション技術の研究開発を推進しております。
生み出した技術をスマートフォンやタブレットという多くの人が持っている端末で使えるソフトウェアとして提供、実証実験を繰り返し、機能やインターフェースの改良といった取り組みを実施することで様々な「コミュニケーションの壁」を越えるという目的を達成しようとしています。

取組み事例

概要

NICT 多言語音声翻訳システム VoiceTra

ユニバーサルコミュニケーション研究所では、言語の壁を越える技術の研究開発を推進しています。VoiceTraはスマートフォンに日本語を音声入力すると即座に英語に翻訳して、音声出力する機能を実現しました(日英翻訳時)。また、利用対象を明確化(旅行会話)することで翻訳精度が向上し(TOEIC600点程度)、短文(6語から15語)を高精度に翻訳します。



背景・課題

「言葉の壁」は今日のボーダーレス社会において大きな課題です。日本における一例として、外国人観光客は日本人の観光関係者の多くが外国語ができないために、日本訪問時に日本のおもてなしを十分受けられないという課題があります。この壁を克服するため、当研究所では、内閣府・総務省と共同で社会還元加速プロジェクト「言語の壁を越える音声コミュニケーション」をMASTARプロジェクトにおいて進めました。

工夫したポイント



NICT 多言語音声翻訳の仕組み



・翻訳結果を機械学習することにより翻訳精度等が向上

使えば使うほど賢くなる!!

コーパス: 自然言語の文章をそのまま、あるいは、品詞など文法や文の構造などに関する注釈をつけて構造化し、集めたもの

得られた成果

2010年7月にNICTでこれまで研究開発を行ってきた多言語の音声翻訳技術の成果として「VoiceTra」を、性能評価・ユーザビリティ調査を目的として、iPhone用に世界規模で公開しました。公開終了の2013年3月までに約85万ダウンロードを達成。そこで得られた成果を基に、研究コンソーシアムにて多言語音声翻訳技術の研究開発の推進、技術移転による商用システムの誕生、音声認識の国際コンペ(IWSLT)で最高の音声認識精度を2年連続で証明、とさらなる成果を上げています。

NICT 多言語音声翻訳技術の発展と社会還元



その他（利用者の声等）

※「VoiceTra」の公開は民間への技術移転に伴い、2013年3月31日をもって終了していますが、下記の後継の「VoiceTra4U」をご利用頂けます。

◆NICTは、世界の研究機関と連携した研究共同体「ユニバーサル音声翻訳先端研究コンソーシアム」（以下「U-STAR」、代表：NICT）において、国際連携による自動音声翻訳システムの研究開発を進めています。U-STARでは、NICTが国際標準化したネットワーク型音声翻訳通信プロトコルを用いて、「多言語音声翻訳システム」を構築しました。このシステムの実証実験を行うため、2012年7月18日からiPhone向けアプリ「VoiceTra4U」を一般公開しています。

（対応言語は2014年6月現在：27言語、うち音声入力17言語、音声出力14言語）

◆利用者の声

- ・便利です。いろいろな言語の勉強したいです。
- ・これが人間の次元の高い欲求を満たそうと試みるアプリではないかと思います。
- ・Webサイトの翻訳ソフトよりの確かな訳。片言のコミュニケーションはできるかも。

◆アプリの入手方法：AppStoreで「VoiceTra4U」を検索して、ダウンロードしてください。

◆サポートページ：http://www.ustar-consortium.com/app_ja/app.html

連絡先

本件に関する問い合わせ先
ユニバーサルコミュニケーション研究所

TEL：0774-98-6350
FAX：0774-98-6955
E-mail: eiichiro.sumita@nict.go.jp

取材依頼及び広報 問い合わせ先
広報部 報道担当

Tel：042-327-6923
Fax：042-327-7587
E-mail: publicity@nict.go.jp